

「活動場所に関するアンケート」結果報告

2009.2
P O T A 学術調査部

【総回答数：37】

Q 1. あなたが主に従事している業務はどれですか？

- ① 精神科作業療法…29 ②包括（療養、認知症）病棟…1
③ 精神科デイケア…3 ④その他（教育…1、老健…1）

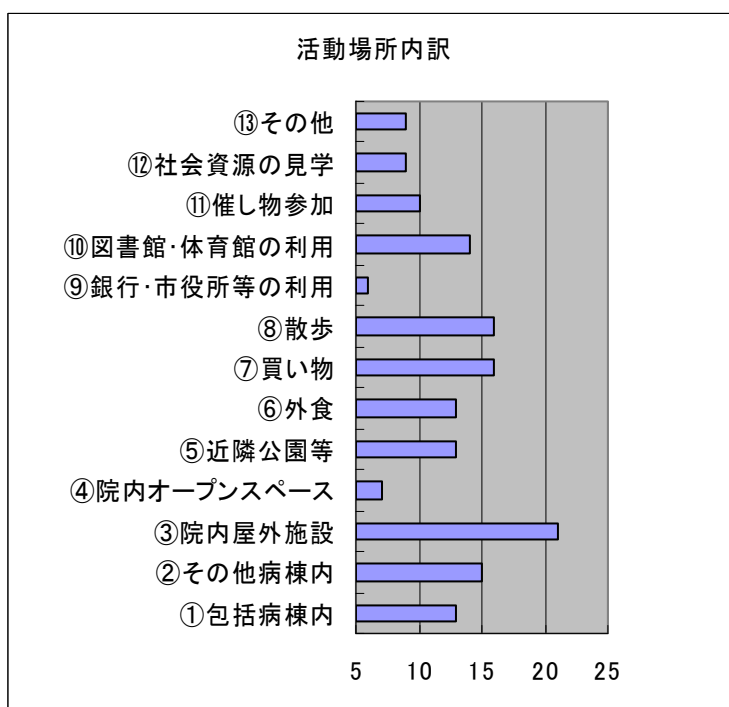
《上記Q 1で、精神科作業療法に従事していると回答した29件（82%）について》

Q 2. 平成20年3月まで、専用施設外で活動を行っていましたか？

YES（Q 3へ）…25件 ・ NO…4件

《上記Q 2で、YESと回答した25件について》

Q 3. どのような施設で（または活動を）行っていましたか？（複数回答可）



『⑬その他』の内訳

- ・ 単身生活に向けての外出泊（自宅）
- ・ ビデオレンタル店
- ・ バッティングセンター
- ・ カラオケ店
- ・ 花見
- ・ DC棟
- ・ その他院外の様々な場所

Q 4. 平成20年4月以降、専用施設外での活動の種類・場所は増えましたか？

増えた…6 ・ 減った…0 ・ わからない…8 変化なし…10

↳ 増えたものの番号（上記Q 3参照）をご記入下さい。（複数回答可）

（①…2 ②…1 ⑤…1 ⑧…1 ⑫…2 ）

その他（ ⑬…1（DC棟） ）

Q 5. 平成20年4月以降、患者さん一人当たりの、専用施設外での活動は増えましたか？

増えた…7 ・ 減った…1 ・ わからない…7 変化なし…8

未回答…1

「活動場所に関するアンケート」結果報告

2009.2

POT A 学術調査部

Q6. 活動場所の制限廃止に関して、ご意見や疑問等があればご自由にご記入ください。

(全回答より)

- ・平成19年まで点数を取っていなかった病棟の患者さんにも買い物を目的を持って行うことが必要ということで、平成20年からレセプトをいただき、事前事後の評価を実施している。
- ・当然のことだと思います。今まで違っていたことを知りませんでした。
- ・新潟県では、制限の指導がなく、制限なくやれていた。
- ・ケースに合わせて様々な援助が提供できてよいと思う。それに伴って、プログラムの安全を保障するために、人員が必要だったり、職員のスキルアップが必要となっているように思います。
- ・OT室へ来られない方(病状、身体的関連)へも、OT活動を提供できるのでよいと思います。
- ・以前より、様々な場所でのOTが必要と考えていたので、よかった
- ・活動場所は柔軟であれ!
- ・当然そうあるべきだったと思う。
- ・治療上必要な場合、専用施設外での活動が可能となり、制度に縛られることなく、対象者に合ったものを行うことが堂々とでき、有難い。これを行う際に必要な作業があれば知っておきたい
- ・これまでも、治療の必要性があつて専用施設外で行っていたが、制限が無くなってホッとしている。安心して様々な場所で活動が出来ることはとても有難い。
- ・改定前は、病棟内レクを専用施設内で行ったように記録していた。改定後もプログラムそのものは大きな変化は無い。“院外での活動も持ちたい”との希望はあるが、上層部としてはむしろ病棟レクで堂々と点数が上げられる方がよいようだ。専用施設外と病棟内、両方の良さを利用できるよう気をつけて行きたい。

【まとめ】

- ★ 活動場所の選択肢が増えたことは、現場は歓迎している。
- ★ 7～8割の施設では、既に専用施設外での活動を行っていたが、引け目を感じながら行っていたことがうかがえる。
- ★ 対象者に合った活動場所を選べるようになり、自由度が高くなったことを有効に活用している施設が多い。
- ★ Q4で社会資源の見学が増えていることや、Q5で患者さん一人当たりの専用施設外活動が増えていることなどから、退院促進の傾向が少し読み取れる。
- ★ 選択肢の拡がりを、院内に閉じ込める方向に利用しないことが望ましい。
- ★ 活動場所が拡がるに従い、リスクや安全面に対する配慮、注意力・観察力、評価などのスキルアップが要求される。

ご協力ありがとうございました。